

平成 30 年度 大阪府立高石高等学校

第 3 回学校運営協議会 記録

日 時 平成 31 年 2 月 15 日(金)

14:30 ~ 16:30

場 所 高石高等学校 校長室

1 開会の辞

2 校長挨拶

3 報 告

(1) 平成 30 年度の学校経営計画および評価の報告 (校長)

①自習室利用

自習室横のトイレ改修工事の騒音が要因で半減した。HR 教室等での自習はカウントしていない。次年度活用の工夫を行う。

②学校教育自己診断の授業関連行程意見

教職員は 94%と非常によかった。生徒も 73%でよかったが、教員の工夫改善がまだ生徒に浸透していない。

③教員相互の授業見学

12 月時点で 47%であるが 3 学期に初任者研究授業、新三研修などがありもっと多くなっている。授業見学総数も増加した。

④遅刻者数

1 学期増えたが持ち直し、昨年並みまで減らしている。

⑤部活動入部率

入部はするが定着率が下がった。62%

⑥朝の読書

よい取り組みなので継続を、と提言いただいた。生徒の肯定的意見 70%止まりなので、読書の大切さを再指導したい。

⑦進路実現

4 年制大学合格率アップした。ただし、早く決めたいという傾向が顕著に。学校斡旋就職決定率 100%維持した。

⑧教育相談体制

学校教育自己診断生徒の肯定的意見が伸び悩み。スクールカウンセラーの派遣回数増加を強く望む。

⑨地域交流

吹奏楽部のみならずフォークソング部も地域貢献している。

⑩学校説明会等

参加者が昨年度を上回った。しかし、本年の入試での志願希望状況は昨年度を下回っている。

⑩保護者満足度

本校に入学させて良かった、89%。100%をめざしたい。

(2)平成31年度の学校経営計画(校長)

次の校長が計画を立案するので、ほとんど変えていない。

(3)広報・学校説明会等について(首席)

説明会・体験入学などには多くの方に来校いただいている。

(4)進路状況について(進路指導主事)

私立大学の合格者数厳格化により、4年制難関私立大学は苦戦。看護医療系への進学は検討している。日々の学習時間が減少傾向にあるので改善をはかりたい。

(5)PTA活動について(庶務部長)

PTA会長はじめ、役員・実行委員の皆さまのおかげで活発な活動ができています。

(6)生徒活動について(生徒会部長)

運動部員の協力・生徒の積極的な活動により、本年も充実した体育祭が実施できた。台風による影響があったが、コーラス大会・文化祭に、生徒会執行部、生徒たちは頑張って取り組んだ。

(7)生徒状況について(生徒指導主事)

1学期までは遅刻数が増加していたが、指導方法を改善し2学期以降減少に転じた。落ち着いた学校生活を維持している。

4 協議

【委員】大学入試制度が大きく変化している。うまく対応されるよう期待する。

【委員】文科系クラブへの参加率が低いので、広い視野での部活指導を望む。

【委員】台風直後の文化祭であったため、やや低調となってしまったのではないかと。

【委員】台風被害にあったが、子どもがクラブのやさしい友人に励まされ、充実した高校生活を送ることができた。

【委員】45分授業の評価はどのようなものか。補完授業の時間割のため、1日に2回体育の授業があつたりする。

【学校】45分授業のため、月曜5限~7限に補完授業を行うのでやむを得ない。現在、新教育課程を検討中である。

【委員】スクールカウンセラーの確保は困難か。

【学校】確保する人材がいなくて困っている。

【委員長】志願希望者の減少と進学状況の苦戦を不安材料とされているが、大学入試改革で合格ラインは上昇しており、頑張っておられる。保護者の満足度が高いのは

よいことである。学習習慣をつけることが大切であり、進路選択の手段として指定校推薦の活用も必要であると思われる。

【委員長】本年度の学校評価を認めてよいか。全委員の賛成により評価を認めます。

5 校長謝辞

6 閉会の辞